

新患者支援センター長からのご挨拶



地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター患者支援センター長
吉田 太之

平素から、関係各位の皆様には大変お世話になっております。さてこの度、前センター長の土肥直文院長に代わり、令和2年5月1日から患者支援センターを担当させて頂くこととなりました。これまで消化器・糖尿病内科に関する事では、本当に多くの先生方にご支援を頂いて参りましたが、今後は診療科に関わらず、すべての患者さんのため地域の先生方と協力し、前方および後方連携をより一層発展させていきたいと考えております。さらに、新型コロナウイルス感染症に関わる診療においても、しっかりと地域の先生と連携を行っていく所存です。地域医療の中で西和医療センターがしっかりと役割を果たせるように職員一同努力しますので、今後とも叱咤激励の程よろしくお願い申し上げます。

新副院長からのご挨拶



奈良県西和医療センター
副院長 たけしま 竹嶋 としちか 俊近

専門医

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会指導医
日本整形外科学会脊椎内視鏡下手術・技術認定医
奈良県立医科大学整形外科臨床教授

専門分野

脊椎脊髄・整形外科一般

令和2年7月1日より、奈良県西和医療センターに赴任いたしました竹嶋俊近です。平成2年に奈良医大を卒業し、整形外科に入局しました。整形外科の中でも特に脊椎疾患の治療に力をいれて診療を行っています。

「首が痛い」、「手がしびれる」、「転びやすくなった」などの症状は頸椎疾患でよく見られる症状です。代表的疾患に頸椎椎間板ヘルニアや頸部脊柱管狭窄症があります。

「腰が痛い」、「強い足の痛みがある」、「歩くと足がしびれる」などの症状は腰椎疾患でよく見られる症状です。代表的疾患に腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症があります。

また、高齢者の方で背中や腰が痛くて、寝返りがうてなかったり座れない場合は骨粗鬆性椎体骨折の可能性がります。

このような症状がありましたら整形外科を受診して頂きたいです。

症状が軽い場合は内服薬や注射などによる保存的治療を行いますが、強い症状が改善しない場合は手術治療が必要になります。患者の皆様によって症状もさまざまですので、診察や各種検査を行い、手術方法・予想経過・手術に伴う合併症のリスクについて十分検討したうえで行います。

手術に関しては、内視鏡を用いてヘルニアをとる脊椎内視鏡手術や、より小さな傷で神経周囲組織を傷つけることなく固定を行う側方侵入椎体間固定術、骨粗鬆症性椎体骨折に対して小さな傷でセメント充填を行う椎体形成手術など、患者さんへの負担を減らしながら従来法と同等かそれ以上の手術効果の得られる最新の低侵襲手術を積極的に取り入れています。

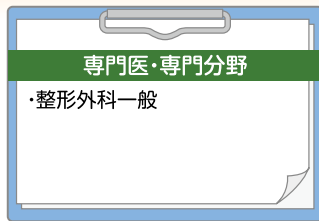
新任医師紹介

令和2年5月18日付

整形外科専攻医



みうら ゆうすけ
三浦 佑介

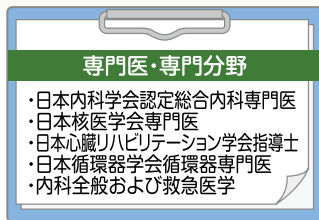


令和2年7月1日付

循環器内科医長



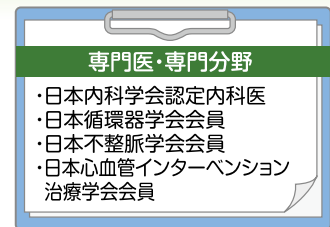
おかやま さとし
岡山 悟志



循環器内科医長



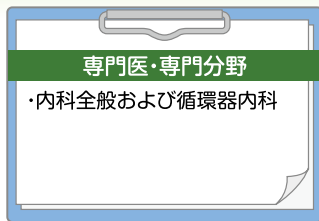
ひらい かえこ
平井 香衣子



循環器内科専攻医



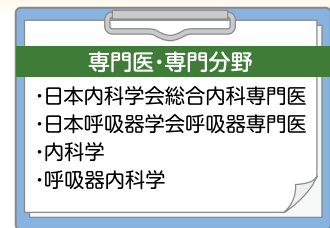
きかわ ともこ
紀川 朋子



呼吸器内科医長



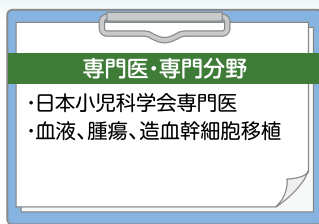
たむら みどり
田村 緑



小児科医長



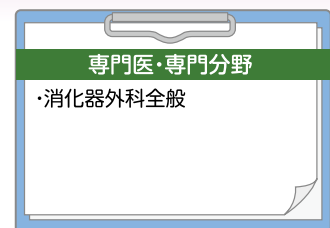
おち さとし
越智 聡史



外科専攻医



さかた たけし
阪田 武



外科専攻医



そが まさひろ
曾我 真弘

